



— multidimensional phaser —

USER MANUAL

strymon®

目次

コントロールノブとスイッチ	
4-ステージフェーザーのコントロール	3
6-ステージフェーザーのコントロール	4
リアパネル 入出力とコントロール	5
ライブエディット機能	
信号ルーティング	7
ステレオスプレッド	8
バーバー極性 (4-ステージ)	10
MIDIクロック同期	11
MIDIエクスペッションへの反応	12
パワーアップモード	
入力レベル	13
バイパスモード	14
EXP/MIDIジャックの設定	15
外部コントロール	
エクスペッションペダルのセットアップ	17
フェイバリットスイッチのセットアップ&コンペアモード	19
MultiSwitch Plusの設定	20
MultiSwitch Plusの使用法	22
MIDI機能	
ZelzahのMIDI設定	23
MIDIモードでのプリセット保存	28
MIDIスペシフィケーション	29
ファクトリーリセット	31
主な特徴	32
スペシフィケーション	33
サンプルセッティング	35
パワーアップモード クイックリファレンス	37
ライブエディットコントロール クイックリファレンス	40
品質保証	42

コントロールノブ & スイッチ 4-ステージフェーザーコントロール

SWEEP

Selects the style of the 4-Stage phaser.

Classic : トラディショナルな上昇/下降を繰り返すLFO、**DEPTHノブ**の調整でキャラクターが変わります。

Barber : 上昇し続けるLFO (詳しくは[10ページ](#)をご覧ください。)

env : **SPEED**と**DEPTH**設定レンジに従って、タッチセンシティブのエンベロープフェーズエフェクトが得られます。

SPEED

LFOの速さを設定します。

MIX

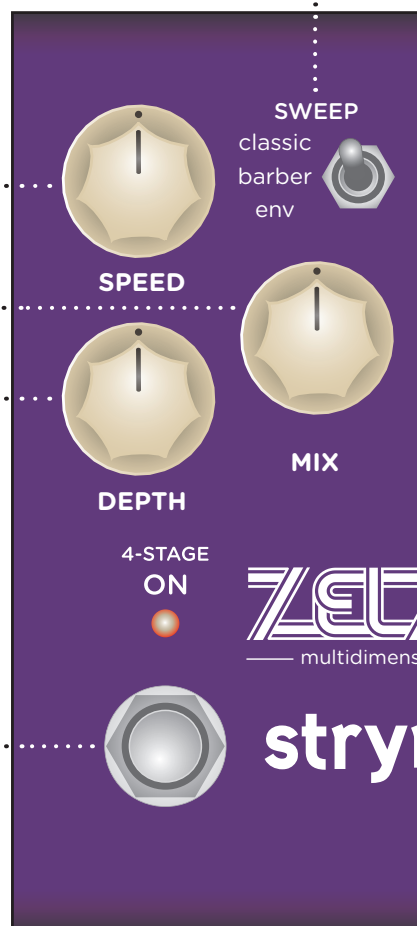
ドライ信号とフェーズシフト信号のミックスを調整します。もっとも強いフェーズエフェクトは12時の位置 (50 : 50ミックス) で得られます。

DEPTH

LFOレンジを調整します。右に回すと (時計回り) より深いフェーシングエフェクトが得られます。

ON

4-ステージフェーザーのみをオンにします。オンになると**レッドLED**が点灯します。その後LEDはLFOスピードに合わせてパルス表示に変わります。



NOTE : LFOとは低い周波数を発生するオシレーターのことです。フィルターをこのオシレーターがフィルター揺らして (モジュレート) フェーズ効果を生じます。

コントロールノブ & スイッチ 6-ステージフェーザーコントロール

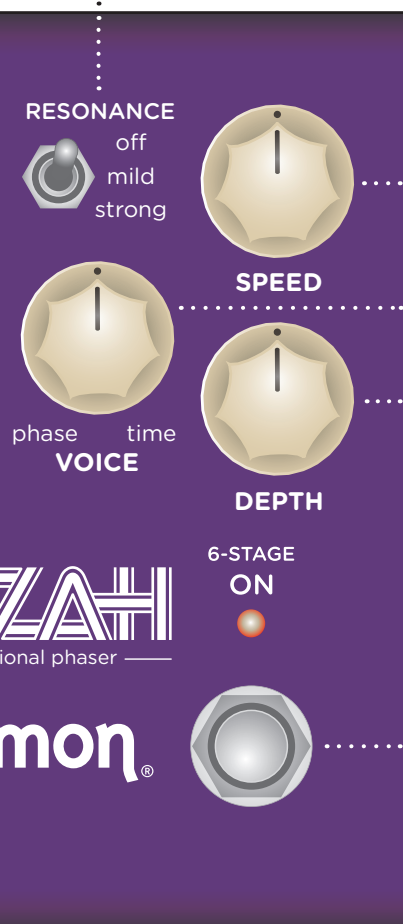
RESONANCE

音色と激しさを加える3つの異なるレゾナンスセッティングです。

Off : スムーズなレゾナンス

Mild : 周波数ピークが強調されます。

Strong : 突出した周波数ピークが現れます。



SPEED

LFOスピードを調整します。

VOICE

スムーズなフェーズボイシングから（左）、中央でフランジャートーン、右でコーラストーンに変化します。

DEPTH

LFOレンジを調整します。高い設定ではドラマチックなフェーズが得られ、**VOICEノブ**の設定によりタイムモジュレーションがかかります。

ON

6-ステージフェーザー回路のみをオンにします。オンになると**レッドLED**が点灯します。その後LEDはLFOスピードに合わせてパルス表示になります。

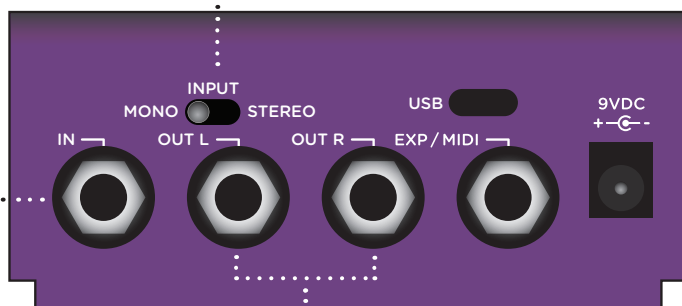
NOTE : 両チャンネルのバイパス時は、リレー回路によるトゥルーバイパスになります。（詳しくは[14ページ](#)をご覧ください。）

リアパネル入出力 & コントロール

Audio Input Selector / オーディオ入力セクター

MONO : ギターなどのモノ信号を入力します。出力はステレオです。モノ出力の場合は**OUT L**のみを使用します。

STEREO : ステレオの入力信号に選択します。出力はステレオです。



IN

ハイインピーダンス、超ローノイズClass A JFETプリアンプ採用の入力です。TRSアダプターを使用してステレオ信号が入力できます。

OUTPUTS

ローインピーダンスステレオオーディオ出力です。モノでの使用は**OUT L**のみを使用してください。

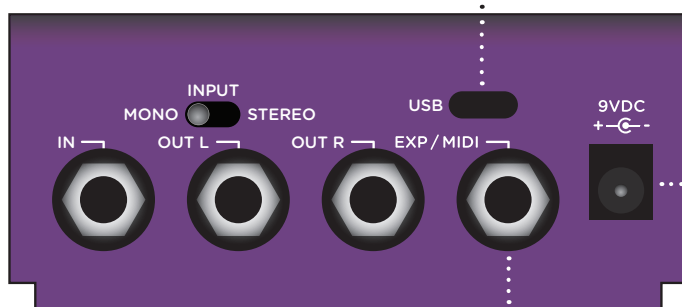
リアパネル入出力 & コントロール

USB

MIDIコントロールとファームウェアアップデートのためにコンピューターと接続するポートです。

9VDC

9VDC（センターマイナス、300mA以上）の電源と接続します。



EXP / MIDI

外部コントロールできるマルチ機能のコミュニケーションジャックです。以下で説明するモードの1つにアサインできます。

エクスプレッションペダル モード：グリーン（デフォルト設定） - TRSエクスプレッションペダルを接続し、アサインしたコントロールノブがペダルから操作できます。（詳しくは[17ページ](#)をご覧ください。）

フェイバリット モード：アンバー - strymon MiniSwitchでフェイバリットセッティングがリコールできます。（詳しくは[19ページ](#)をご覧ください。）

タップ モード：レッド - 6-ステージフェーザーのSPEED（スピード）をタップインすることができます。推奨フットスイッチ：strymon MiniSwitch

MIDI モード：ブルー - strymon MultiSwitch Plus（3プリセット）またはMIDIコントローラー（300プリセット）につないで、MIDIプログラムチェンジが可能です。このモードでは、ジャックが1/4"TRS MIDI仕様になります。

（MultiSwitch Plusに関しては[22ページ](#)、MIDIに関しては[23ページ](#)をご覧ください。）

ライブエディット機能 - 信号ルーティング

本機の4-STAGEと6-STAGEの信号ルーティングをセットします。



- 1 ON (6-STAGE) フットスイッチを長押し、LEDがフラッシュしたらスイッチを離します。
- 2 VOICEノブを回してルーティングを選びます。下記のON (6-STAGE) LEDの色を見ながらルーティングを設定します。

VOICE knob selections:

シリーズ：グリーン - 6-ステージフェーザーから4-ステージフェーザーへ、（両チャンネルがONの場合）信号が流れます。

パラレル：ブルー - 両チャンネルがミックスされて出力されます。ステレオ信号として、L&R信号は独立しています。

スプリット：レッド - それぞれのエフェクトはモノのまま出力されます。4-ステージフェーザーは**OUT L**、6-ステージフェーザーは**OUT R**から出力されます。（出力がステレオ接続時のみ）

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、ルーティングオプションを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : 信号ルーティングオプションは、フェイバリット毎、プリセット毎に保存できます。

Live Edit Functions – ステレオスプレッド

ステレオ出力時、ステレオイメージの広がり感が調整できます。

- 1 **ON (6-STAGE)フットスイッチ**を長押しします。両LEDがフラッシュしたらそれを離します。



- 2 **DEPTH (4-STAGE)ノブ**で4-ステージフェーザーの広がり感を調整します。両LEDの**グリーン**（ナロー）～**アンバー**（ワイド）への一時的な点灯を確認し設定します。

Live Edit Functions – ステレオスプレッド

- ③ **DEPTH (6-STAGE)ノブ**で、6-ステージフェーザーの広がり感を調整します。両LEDの**グリーン**（ナロー）～**アンバー**（ワイド）への一時的な点灯を確認し設定します。



- ④ いずれかのフットスイッチを押し、ステレオスプレッドを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE：ステレオスプレッドのセッティングは、フェイバリット毎、プリセット毎に保存できます。

NOTE：ステレオスプレッドはスプリットシグナルモードでは選択できません。

Live Edit Functions – バーバー極性（4-ステージ）

4-Stageのbarber（バーバー）は継続的に上昇または下降にスイープする方向を選択できます。

- 1 **ON (6-STAGE)フットスイッチ**を長押しします。両LEDがフラッシュしたらそれを離します。



- 2 **SPEED (4-STAGE)ノブ**を調整し、4-ステージフェーザーのスイープ極性を下記のように決めます。

ネガティブ（下降）：レッド – 下降し続けるLFOセッティング

ポジティブ（上昇）：ブルーBLUE – 上昇し続けるLFOセッティング

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、バーバー極性を保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE：バーバー極性のセッティングは、フェイバリット毎、プリセット毎に保存できます。

Live Edit Functions – MIDIクロックとの同期

本機のLFOとMIDIクロックの同期を決定します。

- 1 **ON (6-STAGE)フットスイッチ**を長押しします。両LEDがフラッシュしたらそれを離します。



- 2 **SPEED (6-STAGE)ノブ**で、ZelzahとMIDIクロックの同期設定を決定します。LEDが一時的にステータスカラーに点灯します。

同期オフ： **レッド** (デフォルト設定) - MIDIクロックと非同期

同期オン： MIDIクロックに同期

NOTE： バーバー極性のセッティングは、フェイバリット毎、プリセット毎に保存できます。

NOTE： MIDIに同期すると、SPEEDノブが入力されるクロックテンポのマルチプライヤーやディバイダーの働きをします。設定は左から12時の位置までx4、x3、x2、x1、12時から右へ1/2、1/3、1/4と設定できます。

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、MIDIクロック設定を保存してプレイモードへ戻ります。

Live Edit Functions – MIDIエクスペッションへの反応

MIDIモード設定の際、この設定がMIDIエクスペッションCC# 100を受け、TRSエクスペッションペダルと同じノブセッティングコントロール動作の可否を決定します。

- ① **ON (6-STAGE)フットスイッチ**を長押しします。両LEDがフラッシュしたらそれを離します。



- ② MIXノブでMIDIエクスペッションCC#100への反応を決定します。両LEDが一時的にステータスカラーに点灯します。

Off : **レッド** (デフォルト設定) - MIDIエクスペッションに反応しません。

On : **ブルー** - MIDIエクスペッションに反応します。

- ③ いずれかのフットスイッチを押し、MIDIエクスペッションを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : MIDIエクスペッションセッティングは、フェイバリット毎、プリセット毎に保存できます。

パワーアップモード - 入力レベル

プロセッシングへの入力レベルの選択です。

- 1 **ON (6-STAGE)フットスイッチ**を長押ししながら電源を入れます。
両LEDがフラッシュしたらそれを離します。



- 2 **SPEED (4-STAGE)ノブ**で入力レベルモードを変更します。**ON (4-STAGE)LED**が一時的にステータスカラーに点灯します。

インストゥルメント：グリーン（デフォルト設定） - 入力のヘッドルームがギター信号レベルに設定されます。

ライン：レッド - 入力ヘッドルームが10dB上がり、ラインレベルに対応します。

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、入力レベルを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE：パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。

パワーアップモード - バイパスモード

本機でバッファードバイパスを選択すると、ギターで長いケーブル使用時の（入力信号の）高域劣化が防げます。

- 1 **ON (6-STAGE)フットスイッチ**を長押ししながら電源を入れます。
両LEDがフラッシュしたらそれを離します。



- 2 **SPEED (6-STAGE)ノブ**でバイパスモードを変更します。**ON (6-STAGE)LED**が一時的にステータスカラーに点灯します。

トゥルーバイパス：グリーン（デフォルト設定） - トゥルーバイパス

バッファードバイパス：レッド - バッファードバイパス

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、バイパス設定を保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE：パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。

パワーアップモード - EXP/MIDIジャックの設定

以下のようにEXP/MIDIジャックの働きを設定します。

- 1 **ON (4-STAGE)フットスイッチ**を長押ししながら電源を入れます。
両LEDがフラッシュしたらそれを離します。



- 2 **SPEED (6-STAGE)ノブ**でEXP/MIDIジャックの動作機能を変更します。ON (6-STAGE)LEDが一時的にステータスカラーに点灯します。

エクスペッションペダルモード：グリーン (デフォルト設定) - TRSエクスペッションペダルを接続し、アサインしたコントロールノブがペダルから操作できます。(詳しくは[17ページ](#)をご覧ください)

フェイバリットモード：アンバー - strymon MiniSwitchでフェイバリットセッティングがリコールできます。(詳しくは[19ページ](#)をご覧ください)

タップモード：レッド - 6-ステージフェーザーの**SPEED** (スピード) をタップインすることができます。推奨フットスイッチ：strymon MiniSwitch

MIDIモード：ブルー - strymon MultiSwitch Plus (3プリセット) またはMIDIコントローラー (300プリセット) につないで、MIDIプログラムチェンジが可能です。このモードでは、ジャックが1/4"TRS MIDI仕様になります。

(MultiSwitch Plusに関しては[22ページ](#)、MIDIに関しては[23ページ](#)をご覧ください。)

パワーアップモード - EXP/MIDIジャックの設定



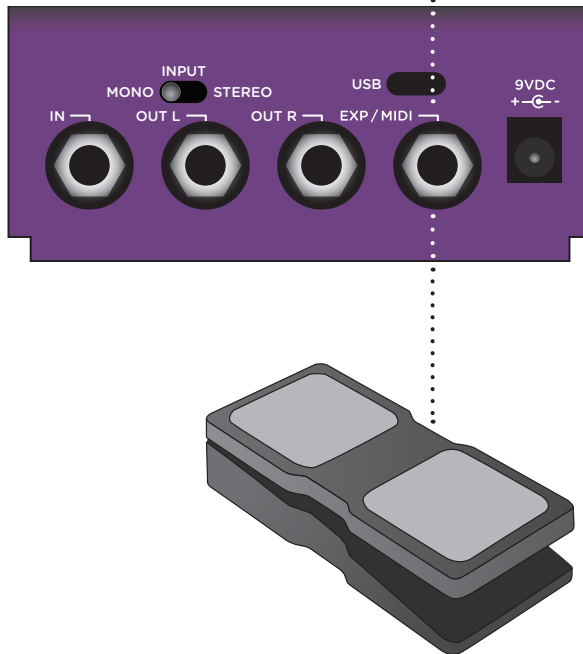
- 3 いずれかのフットスイッチを押し、EXP/MIDIジャック設定を保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。

外部コントロール - エクスプレッションペダルセットアップ

TRSタイプのエクスプレッションペダルで、本機のコントロールノブを操作することができます。

- 1 **EXPジャック**をエクスプレッションモードに設定します。
(詳細は[15ページ](#)をご覧ください。)
- 2 **EXP/MIDIジャック**にエクスプレッションペダルをTRSケーブルで接続します。



- 3 両フットスイッチを同時に長押しすると、両LEDが**グリーン**に点滅します。
- 4 エクスプレッションペダルをヒール側にロックすると、**4-STAGE LED**が**グリーン**に点滅します。
- 5 ペダルのヒールポジションでコントロールしたいノブポジションを決めます。**ON (4-STAGE) LED**が**レッド**に点灯します。

外部コントロール - エクスプレッションペダルセットアップ

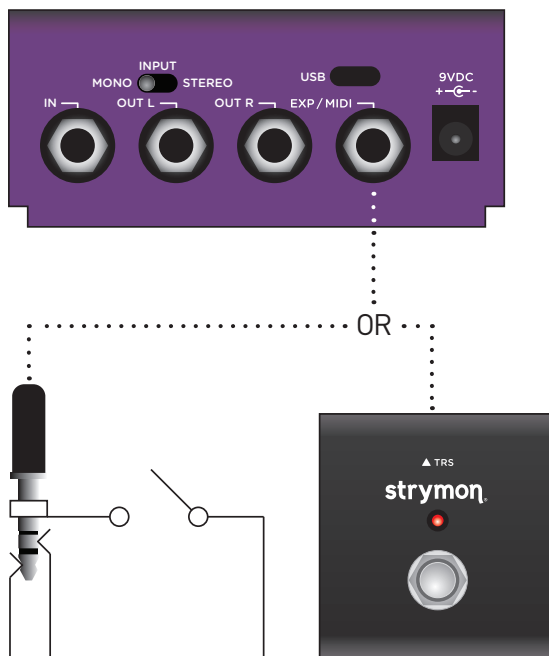
- ⑥ エクスプレッションペダルをトゥ側にロックすると、ON (6-STAGE) LEDがグリーンに点滅します。
- ⑦ ペダルのトゥポジションでコントロールしたいノブポジションを決めます。ON (6-STAGE) LEDがレッドに点灯します。
- ⑧ いずれかのフットスイッチを押し、エクスプレッションペダルセットアップを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : エクスプレッションペダルの設定は、フェイバリット毎、プリセット毎に保存できます。

外部コントロール - フェイバリットスイッチセットアップとコンペアモード

フェイバリット設定のリコールには、MiniSwitchまたはTRSケーブル仕様のラッチスイッチを接続して行います。

- ① **EXP/MIDIジャック**をFAV（フェイバリット）モードにします。
（詳しくは[15ページ](#)をご覧ください。）
- ② 外部スイッチをTRSケーブルで**EXP/MIDIジャック**に接続します。
- ③ コントロールをFAV保存するサウンドに設定します。
- ④ **ON (4-STAGE)**をON (4-STAGE) LEDが**ブルー**に点滅するまで長押しして、その設定を新しいFAVセッティングとしてセーブします。再度、**ON (4-STAGE)**を押してセーブ完了です。



これで、外部フットスイッチを押しFAVセッティングとコントロール面のセッティングが切り替えられます。

コンペアモード

FAVセッティングが選択されているときに、ノブやスイッチを変更しFAVセーブされたポジションに合うと、**ON (4-STAGE) LED**が**グリーン**にフラッシュします。

NOTE : 両チャンネルの全ライブエディット設定とバイパス設定は、ノブやスイッチ設定と一緒にFAVセッティングとして保存されます。

NOTE : MIDIを使用している際のプリセットセーブは方法が異なります。（詳しくは[28ページ](#)をご覧ください。）

NOTE : FAVセッティングはMIDI PC #0番にセーブされます。

外部コントロール - MultiSwitch Plusの設定

本機とマルチスイッチ・プラスをつなぎ、3プリセットにリモートアクセスする設定方法です。

① **ON (4-STAGE)フットスイッチ**を押したまま電源を投入します。LEDの点滅が止まったらフットスイッチを離します。

② **SPEED (4-STAGE)ノブ**を最小に回し(左に回し)、MIDIチャンネルを1に設定します。ON (4-STAGE) LEDは**グリーン**に点灯します。

③ **MIXノブ**を回し次のオプションを選択します。：(左に回し)、TRS MIDIアウトモードをオンにします。FAVORITE LEDはグリーンに点灯します。

MIDI CC、PC、他のデータを送る：ホワイト

MIDI CC、他のデータを送る：**グリーン**

MIDI PC、他のデータを送る：**パープル**

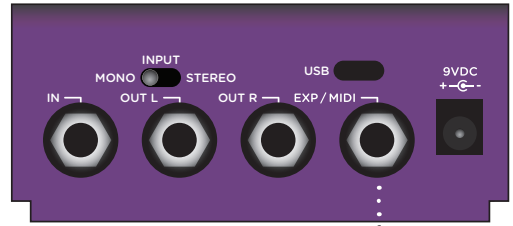
他のデータを送る：**アンバー**

④ **SPEED (6-STAGE)ノブ**を右へ回しきりEXP/MIDIジャックをMIDIモードにします。ON (6-STAGE) LEDは**ブルー**に点灯します。

⑤ いずれかのフットスイッチを押し、MIDIチャンネル、MIDI出力セッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

外部コントロール - MultiSwitch Plusの設定

- 6 本機のEXP/MIDIジャックにTRSケーブルを接続します。



- 7 マルチスイッチ・プラスのAフットスイッチを押しながら、TRSケーブルをマルチスイッチ・プラスに接続し、プリセットモードを選びます。



外部コントロール - MultiSwitch Plusの使用方法

MultiSwitch PlusでZelzahプリセットをセーブ&セレクトする。



NOTE : MultiSwitch PlusのフットスイッチA、B、Cは、MIDI PC（プログラムチェンジ）1、2、3に相当します。

- 1 プリセットのリコールにはLEDは点灯しません。
- 2 Zelzahがバイパス状態のときLEDは点灯します。

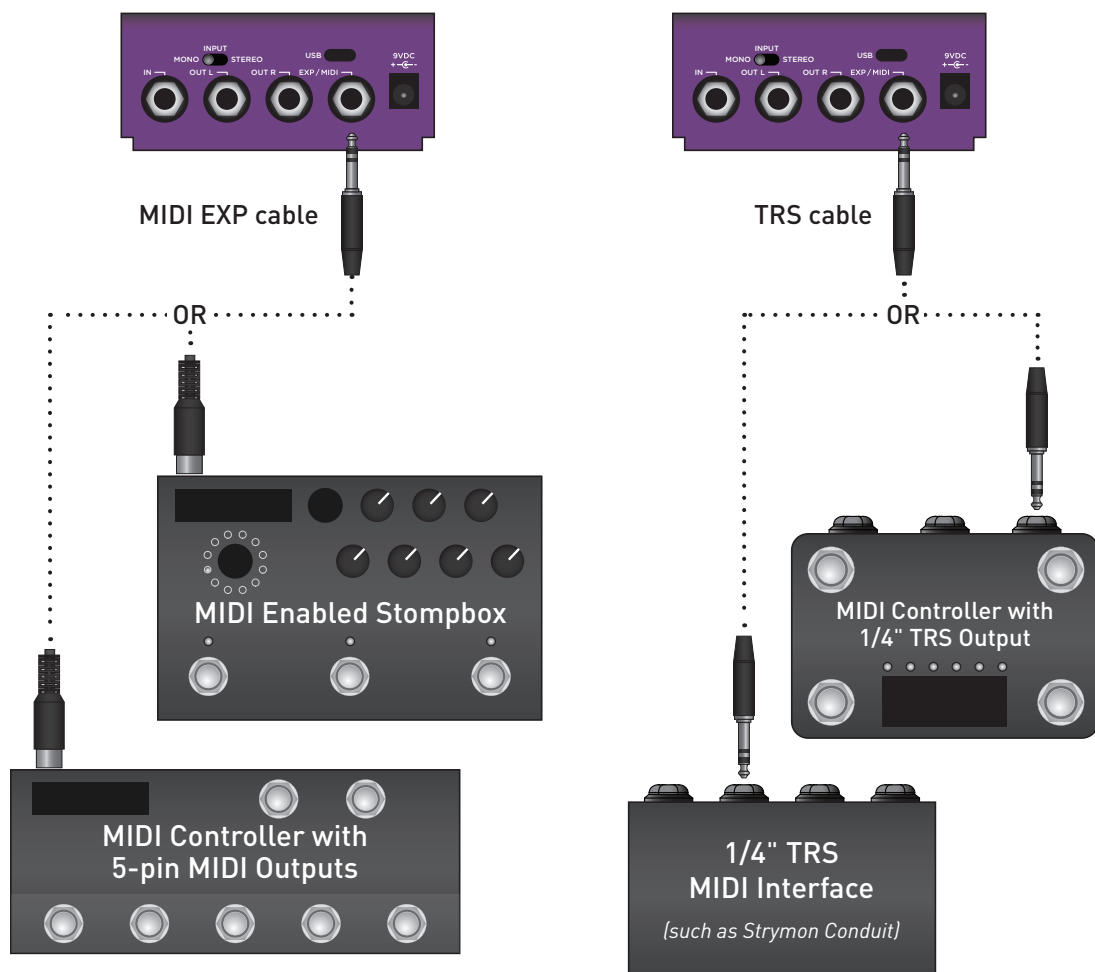
ZelzahのプリセットをMultiSwitch Plusでセーブする：

- 1 セーブしたいサウンドを設定します。
- 2 **ON (4-STAGE) LED** がブルーに点滅するまで、**ON (4-STAGE)フットスイッチ**を長押しします。
- 3 MultiSwitch Plusの**A、B**または**Cスイッチ**を押し、セーブ先を決めます。

MIDI機能 – MIDI使用の準備

MIDIコントローラーまたはインターフェースで、本機の300プリセットへMIDIアクセスが可能です。図のように1/4フォーンを備えたMIDIコントローラー/インターフェース、またはStrymon MIDI EXPケーブルを使用します。MIDI EXPケーブルを使用する際は、MIDIアウトモードはOFFにします。（詳しくは27ページをご覧ください）

strymon.net/support/zelzahに、適応機器を掲載しています。



MIDI機能 - MIDI使用法

ステップ1 - Set FAV/MIDIジャックをMIDIモードにセットする。

- 1 **ON (4-STAGE)**フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。両LEDがフラッシュしたらフットスイッチを離します。



- 2 **ON (6-STAGE)** LEDが**ブルー**に点灯するまで、**SPEED (6-STAGE)**ノブを時計回りに回します。
- 3 いずれかのフットスイッチを押して、FAV/MIDIジャックモードをセーブします。

MIDI機能 - MIDI使用法

ステップ2 - MIDIチャンネルの設定：MIDIデータを送受信するMIDIチャンネルを決定します。MIDI CH 4-16の使用はMIDIデバイスのみで可能です。

- 1 ON (4-STAGE)フットスイッチ**を長押ししながら電源を入れます。両LEDがフラッシュしたらフットスイッチを離します。



- 2 SPEED (4-STAGE)**を回しMIDIチャンネルを決めます。**ON (4-STAGE) LED**が下記のようにステータスを表示します。

SPEEDのステータス：

Channel 1: **グリーン**(デフォルト設定)

Channel 2: **アンバー**

Channel 3: **レッド**

Channel 4-16: **ブルー**(1/4" MIDI接続)

LEDが**ブルー**に点灯時は、MIDIプログラムチェンジ(PC)メッセージを受信するまで点滅が続きます。MIDI PCメッセージを受けると、Zelzahで使用されるMIDIチャンネルが決まり、点滅が止まります。

MIDI機能 - MIDI使用法



- 3 ③ いずれかのフットスイッチを押すと、MIDIチャンネルがセーブされ終了します。

TIP : MIDIコミュニケーションの状態をチェックするには、**ON (4-STAGE)**スイッチがオフの時にCC#27で127のバリューを本機へ送ります。MIDI接続と設定が正しければ、**ON (4-STAGE)フットスイッチ**がon(点灯します)になります。

NOTE : Strymon MIDI EXPケーブルを使用してZelzahへデータを送るだけの場合は、必ずMIDIアウトモードをオフにしてください。(詳しくは、[27ページ](#)のMIDIアウトモードのセクションをご覧ください。)

NOTE : MIDIチャンネルはフェイバリット毎やプリセット毎には保存されません。

MIDI機能 - MIDI使用法

ステップ3 - MIDIアウトモード：本機がMIDIデータを出力するか否かを設定します。

- 1 **ON (4-STAGE)フットスイッチ**を長押ししながら電源を入れます。両LEDがフラッシュしたらフットスイッチを離します。

- 2 **MIXノブ**を回して、本機から出力するMIDIデータを決めます。両LEDがステータスを一時的にフラッシュ表示します。



OFF：**レッド** - 本機からMIDIメッセージは出力されません。(デフォルト設定)

Through：**ブルー** - 本機が受けたMIDIメッセージをそのまま出力します。

SEND CC、PC、OTHER：**ホワイト** - MIDI CC、PC、Sysex (システムエクスクルーシブ) メッセージがMIDI OUTから出力されます。

SEND CC、OTHER：**グリーン** - MIDI CC、Sysex (システムエクスクルーシブ) メッセージがMIDI OUTから出力されます。

SEND PC、OTHER：**パープル** - MIDI PC、Sysex (システムエクスクルーシブ) メッセージがMIDI OUTから出力されます。

SEND OTHER：**アンバー** - MIDI Sysex (システムエクスクルーシブ) メッセージがMIDI OUTから出力されます。

- 3 いずれかのスイッチを押してMIDIアウトモード設定ページから出ます。

MIDI機能 - MIDIプリセットの保存

MIDIモードでは、300プリセットロケーションの何処へでもプリセットが保存できます。

- 1 セーブモード(保存モード)へは、**ON (4-STAGE)フットスイッチ**を長押しします。LEDが**ブルー**に点滅し、MIDI PCメッセージの受信待ちの状態を表します。



- 2 現ペダルステータスをプリセットロケーションにロードするには、**ON (4-STAGE)フットスイッチ**を押します。



現ペダルステータスをプリセットロケーションにロードするには、(設定MIDIチャンネルで) MIDIプログラムチェンジを送ります。**ON (4-STAGE) LED**がフラッシュし、MIDI PCで受けたプリセットロケーションにセーブします。

NOTE : **(6-STAGE)フットスイッチ**を押してセーブをキャンセルします。

MIDI機能 - MIDIスペシフィケーション

MIDIプログラムチェンジ

本機には0-299までの300プリセットロケーションがあります。MIDIプログラムチェンジメッセージは最大128 (0-127)のため、これらを以下のように3つのMIDIパッチバンクに振り分けます。

MIDI BANK 0 = プリセット 0-127

MIDI BANK 1 = プリセット 128-255

MIDI BANK 2 = プリセット 256-299

- 0 FAVセッティング
 (詳しくは[19ページ](#)をご覧ください)
- 1 MultiSwitch Plus フットスイッチ 1
- 2 MultiSwitch Plus フットスイッチ 2
- 3 MultiSwitch Plus フットスイッチ 3
- 127 マニュアルモード

本機は通常の電源投入時には、MIDI Bank(バンク)「0」が選ばれるため、プリセットは初めの 127を使う方が良いでしょう。MIDI PCを受けてプリセットがロードされます。

MIDI Bank1又は2を使用する際は、各MIDI PCの前にMIDI Bank チェンジメッセージ(MIDI CC #0とMIDI Bank#)を送ります。

バンク0&パッチ127(MIDIメッセージ)を本機が受けるとマニュアルモードになり、本機のコントロール&スイッチの現セッティング(操作面の実セッティング)に戻ります。これはプリセットとしては保存されません。

MIDI機能 - MIDIスペシフィケーション

MIDI CC ナンバー

CC#	PARAMETERS	RANGE	ENUMERATION
0	Bank Select	0-2	
10	Bypass/On 4-Stage	0, 127	(0=bypass, 127=on)
11	Sweep	1-3	(1=classic, 2=barber, 3=envelope)
12	Speed 4-Stage	0-127	
13	Depth 4-Stage	0-127	
14	Mix 4-Stage	0-127	
15	Polarity 4-Stage	0-1	(0 = negative, 1 =positive)
16	Stereo Spread 4-Stage	0-127	
17	Bypass/On 6-Stage	0, 127	(0=bypass, 1-127=on)
18	Resonance 6-Stage	1-3	(1=off, 2=mid, 3=strong)
19	Speed 6-Stage	0-127	
20	Depth 6-Stage	0-127	
21	Voice 6-Stage	0-127	
22	Stereo Spread 6-Stage	0-127	
23	Series / Parallel / Split	0-2	(0=series, 1=parallel, 2=split)
27	Footswitch A	0, 127	(0=release, 1-127=press)
28	Footswitch B	0, 127	(0=release, 1-127=press)
33	Bypass/On A and B	0, 127	(0=bypass, 1-127=on)
60	MIDI Expression Off/On	0, 127	(0=off, 1-127=on)
93	Remote Tap	Any	
100	Expression Pedal	0-127	

NOTE : 全てのon/offパラメーターは、0 = off、他のパラメーター(1-127)=onで実行されます。多くのMIDIコントローラーは、「0&127」が「on/off」スイッチで使用されます。

ファクトリーリセット

工場出荷時の状態に戻すプロセスです。設定した機能やプリセットがファクトリーデフォルトに変更されます。



- 1 **ON (6-STAGE)フットスイッチ**を長押ししながら電源を入れます。両LEDがフラッシュしたらスイッチを離します。

- 2 **DEPTH (4-STAGE)ノブ**を2回、0から100%まで回します。ON (4-STAGE) LEDは色を変え、**レッド**の点滅まで変化します。

Turn 1: **AMBER**

Turn 2: **RED**

Turn 3: **AMBER**

Turn 4: Both LEDs flash **RED** この後リセットが始まります。

ファクトリー出荷時のセッティング

FAV/MIDIジャック：エクスプレッションモード

入力レベル：インストルメント

バイパスモード：トゥルーバイパス

MIDIチャンネル：1

MIDIアウトモード：オフ

4-ステージ ステレオスプレッド：オフ

6-ステージ ステレオスプレッド：オフ

バーバー極性：ポジティブ

信号ルーティング：シリーズ

MIDIクロック同期：オフ

MIDIエクスプレッション：オン

主な仕様

- 各セクションを個別で使ったり、シリーズ、パラレル、スプリット3つの異なる接続方法で同時に使える2つの完全に独立したフェーザー。
- Classic、Barber、Envelope、3つの異なるスイープモードを備えた4-ステージフェーザーです。
- 6-ステージフェーザーのアルゴリズムにフェーズ〜フランジャー〜コーラスへのエフェクトレンジ（VOICEコントロール）、さらに全設定に効くレゾナンス切り替えスイッチを追加しました。
- 各セクションは個々にまたは一緒に使用できます。同時に使用する際は、それらをシリーズ、パラレル、スプリット3つの異なる接続方式でプレイできます。
- インストルメントとライン信号の入力信号レベルが切り替えられます。
- ツールバイパスとバッファードバイパスが選択できます。
- EXP/MIDIジャックは、TRSエクスペッションペダル、MiniSwitch、MultiSwitch Plus、TRS MIDIの接続が可能です。
- MIDI機能をフルサポートしています。300プリセット&リアルタイムパラメーター・コントロール(1/4フォーンTRS、Strymon MIDI EXPケーブル、MIDI→TRSインターフェース)が可能です。
- USBジャックはPCからのMIDI機能とファームウェアアップデートをサポートします。
- 高品位JFET アナログ入力段デザイン
- 超低ノイズ設計、最高品位24-bit 96kHz A/D&D/Aコンバージョン
- ハイインピーダンス、超ローノイズ、ディスクリートClass A JFETプリアンプ搭載
- 32bit浮遊演算プロセッシング
- ステレオ入力とステレオ出力（TRSケーブルが別途必要です。）
- ローインピーダンス ステレオ出力
- USA設計

スペシフィケーション

.....

入力インピーダンス	1 Meg Ohm
出力インピーダンス	100 Ohm
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+10 dBu
S/N	109 dB typical
バイパススイッチング	トゥルーバイパス(リレースイッチング)、超ロー ノイズ・バッファードスイッチング
サイズ	(D) 11.4 cm x (W) 10.2 cm x (H) 4.4 cm

電源アダプター規格

.....

9VDCセンターマイナス、300mA以上のアダプターを使用してください。9Vより高い電圧を入力すると、本機に損傷を与えます。

Appendix 1

サンプルセッティング

Sample Settings



MIDI Program Change 0
MiniSwitch Favorite



MIDI Program Change 1
MultiSwitch Plus A



MIDI Program Change 2
MultiSwitch Plus B



MIDI Program Change 3
MultiSwitch Plus C



MIDI Program Change 4



MIDI Program Change 5

Appendix 2

**パワーアップモード
クイックリファレンス**

パワーアップモード クイックリファレンス

グローバルパラメーターと機能は、通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。

ON (6-Stage)フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。

ノブやボタンの機能設定は下記をご覧ください。

いずれかのフットスイッチを押してこのパワーアップの設定から出ます。

バイパスモード

(図を用いた説明は[14ページ](#)をご覧ください。)

SPEED (6-STAGE)ノブを回して設定したいモードに合わせてください。ステータスは**SPEED (6-STAGE) LED**に表示されます。

トゥルーバイパス：**グリーン**

バッファードバイパス：**レッド**

入力レベル

(図を用いた説明は[13ページ](#)をご覧ください。)

SPEED (4-STAGE)ノブを回して設定したいモードに合わせてください。ステータスは**SPEED (6-STAGE) LED**に表示されます。

インストルメント：**グリーン** (デフォルト設定)

ライン：**レッド**

ファクトリーリセット

(図を用いた説明は[31ページ](#)をご覧ください。)

DEPTH (4-STAGE)を0%~100%まで2回回します。ステータスは両LEDに表示されます。

パワーアップモード クイックリファレンス

グローバルパラメーターと機能は、通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。

ON (4-STAGE)フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。

ノブやボタンの機能設定は下記をご覧ください。

いずれかのフットスイッチを押してこのパワーアップの設定から出ます。

EXP/MIDIジャックモード

(図を用いた説明は[24ページ](#)をご覧ください。)

SPEED (6-STAGE)ノブを回して設定したいモードに合わせてください。ステータスは**SPEED (6-STAGE) LED**に表示されます。

エクспレッション：グリーン (デフォルト設定)

フェイバリット：アンバー

MIDI：ブルー

MIDIチャンネル

(図を用いた説明は[25ページ](#)をご覧ください。)

SPEED (4-STAGE)ノブを回すと**ON (4-STAGE) LED**がチャンネルステータスを表示します。

1：グリーン (デフォルト設定)

2：アンバー

3：レッド

4-16：ブルー (channel set by next MIDI message)

MIDIアウトモード

(図を用いた説明は[27ページ](#)をご覧ください。)

MIXノブを回すと両LEDがステータスを表示します。

ON CC PC OTHER：ホワイト

ON CC OTHER：グリーン

ON PC OTHER：パープル

ON OTHER：アンバー

THROUGH：ブルー

OFF：レッド (デフォルト設定)

Appendix 3

**ライブエディット
クイックリファレンス**

ライブエディット クイックリファレンス

Zelzahには、特定ノブやスイッチのないいくつかの機能が隠されています。これらはプリセットごとにセーブできます。

両LEDが点滅しライブエディットモードに入るまで、**ON (6-STAGE) フットスイッチ**を長押しします。

次にあげた設定が完了したら、いずれかのフットスイッチを押してライブエディットモードから出ます。

信号ルーティング

(図を用いた説明は7ページをご覧ください。)

VOICEノブを回すと、**ON (6-STAGE) LED**がチャンネルステータスを表示します。

シリーズ：グリーン

パラレル：ブルー

スプリット：レッド

極性(4-STAGE)

(図を用いた説明は8ページをご覧ください。)

DEPTH (6-STAGE) ノブを回すと、**ON (6-STAGE) LED**がチャンネルステータスを表示します。

ネガティブ：レッド

ポジティブ：ブルー

ステレオ スプレッド (4-STAGE)

(図を用いた説明は8ページをご覧ください。)

DEPTH (4-STAGE) ノブを回すと、両LEDが**グリーン** (ナロー) ~ **アンバー** (ワイド) でステータスを表示します。

ステレオ スプレッド (6-STAGE)

(図を用いた説明は9ページをご覧ください。)

DEPTH (6-STAGE) ノブを回すと、両LEDが**グリーン** (ナロー) ~ **アンバー** (ワイド) でステータスを表示します。

ライブエディット クイックリファレンス

Zelzahには、特定ノブやスイッチのないいくつかの機能が隠されています。これらはプリセットごとにセーブできます。

両LEDが点滅しライブエディットモードに入るまで、**ON (6-STAGE)フットスイッチ**を長押しします。

次にあげた設定が完了したら、いずれかのフットスイッチを押してライブエディットモードから出ます。

MIDIクロックシンク

(図を用いた説明は[11ページ](#)をご覧ください。)

SPEED (6-STAGE)ノブを回すと、両LEDが**レッド** (オフ)、**ブルー** (オン) でステータスを短い時間表示します。

MIDIエクスペッション

(図を用いた説明は[27ページ](#)をご覧ください。)

MIXノブを回すと、両LEDが**レッド** (オフ)、**ブルー** (オン) でステータスを短い時間表示します。

品質保証に関して

本機はStrymon 日本総代理店 オールアクセスインターナショナル株式会社が、ご購入後1年以内の品質保証を行っております。修理が必要な際は、購入時の保証書(購入期日及び販売店の捺印 必須)を提示の上、購入された販売店にご依頼下さい。保証書の提示が無い場合は、保証内であっても保証の対象にはなりません。

保証対象者は「購入者」であるファーストオーナーに限られます。中古品を売買するサイトや販売店からの中古品、譲渡された製品は、この保証の対象にはなりません。また、海外で購入されたstrymonプロダクトは、国内では保証の対象にはなりませんので、ご了承ください。

ノート：全てのstrymon製品はシリアルナンバーが登録&保存されています。

注：本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及び、それに付随する「著作権隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

▲警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲警告:次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気が多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

■取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。
クリーナーやシンナーは使用しないで下さい。

品質保証に関して

■サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取り扱いは行わないで下さい。記載外の使用方法で本機を使用されますと故障故障する場合がありますと考えられます。本書に基づいた使用方法に限定してください。記載外の使用方法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取り扱いは慎重に行なって下さい。万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。修理が必要な場合は、購入先もしくは弊社へご依頼下さい。

strymon 正規輸入販売代理店
オールアクセスインターナショナル株式会社

本社:愛知県あま市本郷三反地21番地
営業事務所:愛知県あま市本郷四反田27番地

【お問い合わせはこちら】
mail : pedal@allaccess.co.jp
www.allaccess.co.jp